

後期専門研修

呼吸器内科では1人1人の独自性、専門性、価値観を最大限尊重し、個々の希望に柔軟に対応した後期専門研修が可能です。教授をはじめ多くのスタッフが個々の希望や考えをよく聞き、後期専門研修終了後までを見据えた生涯キャリアをサポートします。



主任教授 檜澤伸之
出身大学／北海道大学医学部
日本内科学会総合内科専門医、
日本呼吸器学会指導医、日本
アレルギー学会指導医

呼吸器内科は、感染症をはじめ、腫瘍性疾患、免疫アレルギー性疾患、肺循環系疾患、慢性炎症性疾患など、非常に幅広い領域の疾患を扱います。研修では稀少疾患からcommon diseaseにいたるまで包括的な診療技術をもつ呼吸器内科専門医の育成を目指しています。後期研修1年目では呼吸器疾患の基本的な診療技術を習得し、2年目以降でその技術や知識を補強していきます。最終年度では、自らの知識を整理し、他の研修医の指導を行うとともに、学会活動を通じて臨床研究や基礎研究への動機付けを行います。習得すべきことが多岐に及ぶため、常に高い向上心と継続的な努力とが求められます。しかし当科に所属している研修医たちはみな、探究心が旺盛で、やる気にあふれた若者ばかりです。筑波大学に限らず、他大学からの研修医も積極的に受け入れ、自由に開放された雰囲気の中で研修が行われています。

社会の高齢化に伴い2020年における世界の死因の第3位が慢性閉塞性肺疾患、4位が肺炎、5位が肺癌、7位が結核と推測されています。一方で、呼吸器専門医の数は極めて少なく、多くの呼吸器疾患の患者さんが最新、最適な医療を受けることができません。呼吸器内科の社会的ニーズは益々高くなっています。一人でも多くの若い先生方と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

研修目標

常に病に苦しむ患者さんの立場に立ち、幅広い知識と豊富な経験に裏打ちされた、包括的な視点に立った医療の提供ができること。

研修プログラム

筑波大学附属病院にて主に肺癌、間質性肺炎の診療や高度先進医療を経験し、各関連病院で結核、HIVなどの感染症、喘息、COPD、塵肺、高齢者特有の合併症を有する複合的疾患を主に経験。3年間の研修期間を通じて呼吸器疾患に対する診療技術を包括的に習得します。

日本内科学会や日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本アレルギー学会、日本臨床腫瘍学会、がん治療認定医機構の認定施設で研修することによって、各学会の認定医・専門医を取得する準備をします。

関連病院

水戸地域医療教育センター、筑波メディカルセンター、茨城東病院、筑波学園病院、水戸医療センター、日立製作所日立総合病院、県西総合病院、茨城西南医療センター、きぬ医師会病院、県立中央病院、小張総合病院、帝京大学ちば医療センターなど

※上記以外病院での研修も個々の相談に応じております。

HP: <http://www.md.tsukuba.ac.jp/clinical-med/pulmonology/>

連絡先: 029-853-3144, resp-med@md.tsukuba.ac.jp (医局)

[檜澤伸之 nhizawa@md.tsukuba.ac.jp](mailto:nhizawa@md.tsukuba.ac.jp)

または [小川良子 r.ogawa@mail.hosp.tsukuba.ac.jp](mailto:r.ogawa@mail.hosp.tsukuba.ac.jp) までご連絡ください。

ローテーション例

(1) 幅広い内科研修から呼吸器内科認定施設へと繋がる研修

3年目：初期研修で不十分な内科研修分野、放射線科や病理などの呼吸器内科関連分野で1年間ローテーション(内科認定医の取得可能)

4～6年目：大学病院、呼吸器内科関連病院で研修(呼吸器内科専門医等の取得可能)

◆チーフレジデント(6年目)清水圭

3年目	4年目	5年目	6年目
内科ローテーション (県立中央病院/日立総合病院)	県西総合病院	茨城東病院 (結核病棟有)	筑波メディカルセンター(地域がんセンター・緩和ケア病棟有)／筑波大学附属病院

研修感想コメント:一般内科研修から始まり、結核病床のある病院での研修、緩和ケア病棟を備えた地域がんセンターでの研修とバラエティに富んだ施設で研修できて、4年間を通して様々な研修ができました。今後は呼吸器内科医として専門医取得を目指してさらに臨床経験を積んでいきます。

(2) 3次救急病院(救急部専属)での研修を取り入れた研修

3年目：内科ローテーション(内科認定医の取得可能)

4～8年目：3次救急病院で救急部専属で1～2年研修、大学病院、呼吸器内科関連病院で研修(呼吸器内科専門医等の取得可能)

◆チーフレジデント(8年目)大塚茂男

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
一般内科研修 (水戸協同病院/筑波メディカルセンター)	前橋赤十字病院 (3次救急病院で救急部専属)		筑波メディカルセンター (3次救急病院)	茨城東病院 (結核病棟あり)	筑波大学附属病院

研修感想コメント:救急医療に携わっていきたいという自分の希望をくんでもらい、救急専属として集中治療に専念した研修を取り入れた後期研修ができて満足しています。今後は呼吸器内科専門医だけでなく、救急専門医の取得も視野にいれて経験を積んでいこうと思います。

(3) 癌に重点を置いた研修・・・後期専門研修のうち1年間を国立がんセンター東で研修

3年目：内科ローテーション(内科認定医の取得可能)

4～7年目：大学病院、呼吸器内科関連病院で研修(呼吸器内科専門医等の取得可能)
うち国立がんセンター東病院等で1年間研修

◆チーフレジデント(6年目)塩澤利博

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
内科ローテーション (筑波大学附属病院/ 日立総合病院)	県立中央病院 (地域がんセンター)	筑波メディカルセンター(地域がんセンター・緩和ケア病棟有)／筑波大学附属病院	茨城東病院 (結核病棟あり)	国立がんセンター東病院

研修感想コメント:半年～1年ごとに異動は忙しく大変でしたが、様々な環境で多岐にわたる呼吸器疾患を学べたことは非常に有意義でした。研修で学んだことを生かして今後茨城の医療に貢献できるように頑張りたいと思います。

(4) 研究活動も活発に行いつつ大学院進学につながる研修

3年目：内科ローテーション(内科認定医の取得可能)

4～6年目：大学病院、呼吸器内科関連病院で研修(呼吸器内科専門医等の取得可能)

◆チーフレジデント(6年目)松山政史

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
内科ローテーション (水戸医療センター/筑波記念病院)	茨城東病院(結核病棟あり)		茨城東病院／筑波大学附属病院	大学院

研修感想コメント:臨床だけでなく研究面でも熱心な指導医のもと国内の学会で数多くの発表を行い、海外の学会での発表も経験でき、論文もいくつか仕上げる事ができました。今後は大学院に進学して間質性肺炎や非結核性抗酸菌症の研究をする予定です。

大学院進学(博士号取得)に関して

呼吸器内科では希望に応じて大学院進学が可能です。後期研修途中で進学するものもあれば、後期研修修了後に進学することも可能です。分野は気管支喘息(アレルギー)、COPD、癌、免疫学と幅広い分野で行っています。